

☆☆☆朝礼講話☆☆☆

1月28日(月)

『人と人をつなぐもの』

～2つの震災にはさまれた日に思い起こすこと～

講話 教務主任 黒岩 靖



最初に、「なぞなぞ」を2つ。ちなみに、答えは全て、漢字1文字です。

第1問

「動物と違って、人間は『○』をつなぐことができます。さて、人間がつなぐことができる『○』とは何でしょう。答えは2つあります。」

正解の1つは、『手』です。人間は、近くにさえいれば手をつなぐことができます。お互い寄り添って、みんながその気持ちにさえなれば、手をつなぐことができます。

もう1つの答えは、『心』です。心は、手をつなぐように簡単にはつなぐことはできませんが、みんなが想像力を働かせてお互いに思いをはせれば、心をつなぐことだってできます。

第2問

「そこにいる人たちが手をつなぐと、あるいは、心をつなぐと『□』ができます。さて、『□』とは何でしょう。『□』に当てはまる漢字はそれぞれ異なりますが、読み方は同じです。」

正解の1つ、そこにいる人たちが手をつないでできるのは、『輪』です。みんなで手をつないだら『輪』ができますよね。

もう1つの答えは、『和』です。そこにいる人たちが、それぞれに相手の立場を考えお互いに思いを深めていけば、みんなの心が通い合って『和』になります。そして、もう確かめるまでもないですが、『輪』も『和』も『わ』と読みます。



ところで、今日1月28日を含めて前後しばらくの日々は、日本の国でかつて起こった、2つの大きな震災にはさまれた期間に当たります。2つの大きな震災とは、もちろん、平成7年の1月17日に起こった『阪神・淡路大震災』と、平成23年の3月11日に起こった『東日本大震災』のことです。

『東日本大震災』は、まだ一昨年の出来事であり記憶にも新しく、当時ニュースで流された衝撃的な映像を忘れることができないという人が多いと思います。私自身もそうです。津波にのみ込まれる町並みや白煙を上げる福島第一原子力発電所の様子は、今だに鮮明に覚えています。それに比べて、『阪神・淡路大震災』は、今から18年も前のことであり、君たちはまだ、生まれてさえもいません。私にとっても、20年近く前のこととなると、記憶に残っていないこともたくさんあります。しかし、私には、『阪神・淡路大震災』に関わって、忘れることのできない出来事が1つあります。

平成7年当時、私は甚目寺町にある中学校に勤めていました。震災が発生してからしばらくたって、その学校で共に働いていたある女性の先生の家族が亡くなられたということで、葬儀がありました。亡くなられた方はその先生の息子さんで、兵庫県の大学に通ってみえたのです。地震が起こった当日から、その先生は学校を休んでいました。音信不通となった息子さんのことが気がかりで、ずっと現地に行ってみえたのです。しかし、残念なことです、息子さんは、崩れ落ちたアパートの建物の中から、遺体となって発見されたのです。

葬儀の会場で、その先生は、息子さんが納められた棺にとりすがって泣いてみえました。号泣でした。葬儀に参列している人たちの目をはばかりることなく、声を荒げて、息子さんの名前を呼びながら泣いてみえました。私は、その先生の姿を見て、子を思う母親のその思いの強さというものに圧倒され、『阪神・淡路大震災』を憎いと思い、同時にその恐ろしさを実感したのです。

後日、その先生が、葬儀に出席した私たちに語ってくださったことがあります。それは、次の言葉です。

震災が発生して以来、全国から、さらには外国からまで、たくさんの人たちが現地を訪れ、救助や復興に向けての活動に取り組んでいました。震災発生直後、電気やガス・水道などが寸断された状況を、『ライフライン(命綱)が途絶えた』とマスコミが伝えただけで、私は、救助や復興のために駆けつけた人々の姿を目の当たりにして、『本当のライフラインとは、人と人のつながりだ』と実感しました。



最後に、「なぞなぞ」をもう1つ。答えはもちろん、漢字1文字です。

第3問

「人が『手』と『心』をつないだとき、ばく大な『◇』が発揮されます。『◇』とは何でしょう。

正解は、……。そうです。それですよね。答えがわかった人は、今度廊下ですれ違ったときにでも、先生に伝えてください。

保健集会

23日(水)に保健委員会の児童が、「生活習慣について」というタイトルで保健集会を開いてくれました。



生活チェックカレンダーをもとに、起きる時刻や寝る時刻などをグラフで示し、生活習慣の状況を説明してもらいました。また、絵本の読み聞かせをして、正しい生活習慣の大切さを伝えてくれました。



2月21日(木)には、学校保健委員会を行い、そこでも生活習慣について考えます。内容は、保健に関する今年度の取組の報告と「あいち健康プラザ」の保健師さんによる講演会です。ご都合のつく方は、ご参加いただけたらと思います。